

Ｈ２３年１２月議会 町長所信あいさつ

一言ご挨拶を申し上げたいと存じます。

先般実施されました任期満了に伴う町長選挙におきまして、町民の皆様方からご支持をいただき、4期目の、町政の舵取りを担うことと相なりました。

議員各位におかれましては重ねてのご指導を賜りたく、ごあいさつを申し上げる次第でございます。

私は12年前、岩泉町長に就任して以来、まさに粉骨砕身、岩泉町の町政運営にあたって参りました。その間、着実に生活・産業基盤の整備を進めることができたと思っております。

先ず社会基盤の整備では、岩泉町のみならず沿岸地方の悲願でありました国道455号早坂トンネル開通、三陸北縦貫道路中野バイパス、農用地総合整備事業による「しもへいグリーンロード」の完成等の道路網の整備、地上デジタル放送の完全移行への対応、ほぼ全集落への携帯電話通信エリア化など情報通信基盤の整備など、目に見える成果を示すことができたものと存じます。

今日まで実に多くの関係者の皆様方から大変なご尽力を賜ったことに対しまして改めて深甚なる敬意を表し、感謝を申し上げたいと存じます。

また、若年層の地元定着など定住化対策は最優先の課題として取り組み、企業の誘致や既存事業所の拡大、

第三セクターの経営安定と事業の拡充などを積極的に進めており、一定の成果が上がっているものと認識しておるところでございます。

なお、第三セクターに関しては、(株)岩泉きのご産業や岩泉乳業(株)の経営問題で、大変なご心配をお掛け致しましたが、ご案内のとおり順調に回復し、その存在意義は十分に果たしていると考えるところでございます。

町づくりは何といたっても「自分の町は自分が創る」という強い意識を持つことと連帯する意識が必要になりますが、平成22年度から31年度までの期間とする「新岩泉町まちづくり総合計画」では、そのことの意味づけを強調して、『新しい伝説を創造し、過疎化に大胆に取り組む』こととしているところでもあります。

このような中、3月11日に東日本大震災がおき、小本地区を中心に、甚大な被害に見舞われました。大震災発災直後から、私も先頭に立って、町職員ともども、人命救助や被災者救援に対応したところではありますが、多くの町民の皆様からも大きなご支援をいただき、衷心より感謝を申し上げたいと存じます。

被災者の皆様は、6月には仮設住宅などへ移り住むことができ、町震災復興計画を9月16日の定例議会で決定をいただきました。いよいよ復旧から復興へ向けて動き出す運びとなりましたことから、被災者の皆様が安心して住み続けることができる町づくりを目

指すことを重ねてお誓い申し上げます。

さて、私は、今回の町長選挙に立候補するに当たりましては、基本的な考えは就任当初と何ら変わることはありませんが、まずもって震災復興を第一に掲げ、震災復興計画の早期実行による着実な復興に邁進する所存であります。

また、今後4年間のまちづくりの政策課題のその一つ目に挙げておりますのは、全ての地域づくりにおいて人材の育成こそが最も重要であると認識しておるところでありまして、農林漁業、観光商業などすべての分野において、地域振興の鍵となる“人づくり”と後継者の確保に全力を投球する考えであります。

そして、農業・林業の振興はもちろんのことではありますが、水産業の1日も早い復旧・復興を図って参りたいと考えております。

さらに、定住促進は、過疎からの脱却を目指す施策として最も重要な戦略と考えておりますことから、新規の企業誘致と既存企業の事業拡大を積極的に進めるとともに、第三セクターの健全経営と積極的な事業拡大を進めることにより、多種多様な雇用の場を創出し、所得の向上と、地場産業の育成による地域経済への波及効果を図って参ります。

震災後、大きな影響を受けている観光事業については、原点に立ち返り再構築を進め、商業の活性化と併せて振興を図って参ります。

教育の分野においては、小中学校の環境整備を進め

ることはもちろんであります。県立岩泉高校は、まちづくりにおける人材育成の要であり、地域の魅力ある学校として今後とも存続充実するよう最大限の支援を行って参ります。

安全で快適な暮らしを支えるためには、防災情報等を素早く確実に多くの人に伝達する事が重要であることから、町の全域に放送が行き渡るよう、また様々な伝達手段を活用できるよう、情報通信の充実に努めて参ります。

私は、激動の今日にあって、岩泉町が将来にわたって持続し、町民の皆様が幸せを実感できる町を構築するために、山積する諸課題を克服し、今後4年間のうちに確かな道筋をつけるべく邁進してまいる覚悟でございます。

たくさんの課題や難問が立ちふさがることがあるかとは思いますが、「明日が見える岩泉づくり」のために、これから生まれてくる子供たちや若者に未来を贈るために、そして今日まで岩泉町を築き上げてこられた諸先輩の方々が、先行きの見えない不安な老後を送ることの無いように、諸問題の解決に命がけで取り組む所存でありますので、重ねてのご指導とご支援をお願いいたしまして、4期目を迎える心情を申し上げる次第でございます。